

社団法人 日本物理学会

2008年度(2008年1月1日～12月31日)事業計画書

(2008年8月29日変更)

1. 学術的会合

1-1. 年次大会・春季大会

1-1-1. 第63回年次大会

会期：3月22日(土)～26日(水)

会場：近畿大学(大阪府東大阪市)

* 3月22日(土)は日本数学会との合同企画日(合同総合講演、合同シンポジウム、合同市民講演会、等を開催)

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子論、素粒子実験、理論核物理、実験核物理、宇宙線・宇宙物理の各領域

会期：9月20日(土)～23日(火)

会場：山形大学(山形市)

1-1-2-2. 上記以外の領域(主に物性関係)

会期：9月20日(土)～23日(火)

会場：岩手大学(盛岡市)

1-2. 第4回Jr.セッション

会期：3月24日(月)

会場：第63回年次大会(近畿大学：大阪府東大阪市)

1-3. 市民向け講演会

年次大会、秋季大会開催時に市民向け講演会を開催する。

1-4. 国際会議の主催・共催

1-4-1. J-PARCシンポ：J-PARCにおける科学

(J-PARC Symposium：Science at J-PARC)

主催：日本学術会議、日本物理学会、KEK、J-PARCセンター

会期：3月5日(水)～7日(金)

場所：水戸市(詳細未定)

本会代表運営委員：永宮正治(KEK)

1-4-2. IUPAP General Assembly-2008

主催：International Union of Pure and Applied Physics

会期：10月(予定)

場所：未定

本会代表運営委員：潮田資勝(北陸先端大)

1-5. その他の学術的会合

1-5-1. 科学セミナー

テーマ：(検討中)

会期：(未定)

場所：(未定)

1-5-2. 公開講座(科研費補助金を受けて開催予定)

対象：主に高校生

- 1-5-2-1. 理事会企画（東京地区公開講座）
テーマ：量子力学による情報技術の革命
－波動力学から量子暗号・量子コンピューターへ－
会期：10月25日（土）午後
場所：東京大学大学院数理科学研究科大講義室（東京都目黒区）
- 1-5-2-2. 大阪支部企画（大阪地区公開シンポジウム）
テーマ：量子力学による情報技術の革命
－量子力学と技術の接点・量子暗号・量子情報－
会期：12月21日（日）午後
場所：大阪大学中ノ島センター（大阪市）
- 1-5-3. 楽しい物理教室
科学博物館、日本物理教育学会との共催で、年5回開催
対象：小学高学年・中学生
場所：科学博物館
- 1-5-4. 世田谷区中学生講座
世田谷区教育委員会に協力して、年5回程度開催
対象：世田谷区内の中学生
- 1-5-5. 支部例会等
北海道、東北、新潟、名古屋、北陸、京都、大阪、中国、四国、九州の各支部において適宜開催。
- 1-5-6. 国内会議、国際会議等の共催・協賛・後援
他学協会等主催の国内会議、国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援。

2. 刊行関係

2-1. 日本物理学会誌

第63巻1号～12号、月刊。A4判、毎号130ページ、各18,100部発行。

なお、年次大会・秋季大会のプログラムを3月および8月に増刊号としてそれぞれ発行予定。

2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 77 No. 1～13 (No. 13はVolume Index)、月刊（電子版は月2回刊行）。A4判、毎号283ページ (No. 13は185ページ予定)、各1,100部発行。

刊行業務は応用物理学会と協同で運営するIPAPが行う。

また、Online版データの作成（2008年1月～12月刊行分）とSupplement数刷を発行予定。

2-3. JPSJのデータベース化

1946年創刊号から1987年までの全論文の引用文献データの電子化。

2-4. その他

下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する。

2-4-1. 講演概要集

年次大会・秋季大会の講演概要集各4分冊

2-4-2. 物理学論文選集

刊行しない

2-4-3. 科学セミナーテキスト

2008年度に開催する科学セミナーのテキスト

2-4-4. JPSJ Vol. 77 (2008) Supplement

「Advances in Cosmic Ray Sciences」を刊行予定

2-4-5. 大学の物理教育

3月、7月、11月の年3回発行。

2-4-6. 公開講座テキスト（無料）

2008年度に開催する公開講座のテキスト

2-4-7. 会員名簿

出版しない

3. 国際交流・協力関係

- 3-1. オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・台湾・香港・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス、等の物理学会、およびその他の諸団体との交流・協力
- 3-2. AAPPS(アジア太平洋物理学会連合)への参加・支援
- 3-3. AAPPS Bulletin刊行への援助
- 3-4. ASPEN(Asian Physics Education Network)への協力
- 3-5. 開発途上国へのJPSJ別刷代援助およびJPSJ等の寄贈
- 3-6. IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics)への支援
- 3-7. UNESCO PAC(Physics Action Council)への協力
- 3-8. APS(The American Physical Society)のCouncil Meetingへの代表派遣
- 3-9. APPC(アジア太平洋物理学会議)への協力
- 3-10. IUPAPのWomen in Physicsへの協力

4. 図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用

本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する。また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる。

5. 日本物理学会論文賞

JPSJおよびPROGRESS掲載論文の中から5篇以内を選び表彰する。

6. 日本物理学会若手奨励賞

学会講演、学術論文、学位論文などの中から、各領域が推薦し、理事会で選び表彰する。

7. キャリア支援センター

文部科学省が公募した「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に応募し採択された事業名「物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開」については、本会内に設置した標記支援センターを中心に引き続き東京大学、金沢大学、お茶の水女子大学、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の4つの機関と連携して遂行する。

8. 日本学術会議との連携

第63回年次大会において、「日本学術会議と日本物理学会の連携について」と題するインフォーマルミーティングを開催する。

9. 科研費に関するインフォーマルミーティングの開催

第63回年次大会において理事会主催で「科研費に関する懇談会：日本学術振興会ほか関係者との懇談」と題するインフォーマルミーティングを開催する。

10. その他

10-1. 理事会で適当と認められた事業

各種特別委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等。

なお、上記のほか次の欧文誌を共同で発行する。

10-2. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行。

Vol. 119 No. 1~6、Vol. 120 No. 1~6、月刊

B5判、毎号 約 200ページ、各850部発行

創刊号からの電子版をインターネットで提供。

Supplement 数冊を発行予定。